

未来へ(東中だより)

第3号 令和4年5月13日

吉野ヶ里町立東脊振中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標 未来へ
「知性・感性・耐性」を
共に高める生徒の育成



TEL:0952-52-2529 Fax:52-8184

https://www.education.saga.jp/hp/higashisefuri-j/

AIやロボットにない能力で
4月27日 全校集会より(一部省略)

東中生みんなで頑張る

HGS!

H...表情豊かに よい挨拶!

G...学力高める 時間の管理!

S...精一杯の 自問清掃!

2年前に買った本、「先生、この『問題』教えられますか?」(洋泉社(現・宝島社):石川一郎・矢萩邦彦著)を読み返していると、これからの社会に生きる生徒たちにとってためになる話がありましたので、その内容を引用しつつ、以下のように全校集会で話しました。

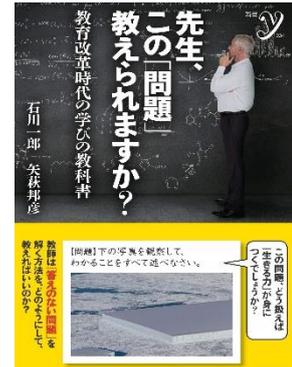
ある大学医学部入試の小論文問題で、写真(著作権の関係上掲載なし。)を見て答えるものがありました。問題は、「キングスクロス駅の写真です。あなたの感じるところを800字以内で述べなさい。」というもの。「感じる」という表現がすごいと思います。医学部の受験者に「感性」が求められているのです。階段上部の人はどうな人か。駅の階段の空洞を何に見立てるか。右側に浮かぶ赤い風船に何を感じるか。想像力をたくましくして、感じたことを整理して論理的に文章にする。つまり、「知性」と「感性」の連携や融合が問われています。

知っての通り、人間の脳は右脳と左脳に分かれており、それぞれが異なる機能を持っています。イメージ・直感・ひらめき・芸術性・創造性など「知覚と感性」を担う「右脳」と、読む・書く・話す・計算・分析など「思考と論理」を担う「左脳」の両方があることが人間の強みだと思います。そう考えると、新しい時代の入試で前述のような問題が出されることは当然なのかもしれません。また、芸術性や創造性を大切にする教科も、ないがしろにしてはいけなないと考えます。

ところで、この本の中では、「AI やロボットにない能力」が10挙げられていました。そのなかで私が関心を抱いたのが、「自己決定能力」「自己言及能力」「仮説思考能力」「目的設定能力」「組織運営能力」「芸術表現能力」の6つです。特に、「自己言及能力」という能力が特徴的だと思いました。基本的に AI は、わからないことがあればスルーするかエラーを示します。それに対し人間は、自分がわかってスッキリしているのか、わからずモヤモヤしているのか自分で確認し、修正することができます。つまり、「振り返ること」は人間の特権だと私は考えます。ですから、みなさんは人間の特権を生かし、授業の終わりにはぜひ「振り返り」をしてください。

さて、ここに昨年の県学習状況調査の数値があります。県の平均を超える達成率を示した教科もありましたが、そうでないものもありました。なかでも社会科で生徒の34%が無解答であり、その結果9.4%の正答率にとどまった設問がありました。他教科の記述式問題の結果を考えると、資料をもとに理由を説明するこの問題に、最初から手をつけなかった生徒もいたのではないかと推測します。完璧ではなくとも、なんとか説明してみようという「粘り強さ」も学力の一つです。

感性を大切にして学習に臨み、しっかりした「知識・技能」を身につけ、その上で粘り強く取り組んで思考力を育み、AI やロボットを使う側の人間に育ってほしいと願っています。



許諾引用:「先生、この『問題』教えられますか?」(洋泉社)



自己言及能力

(前提や構造、自分自身を疑う能力)

基本的にAIは、「わからないことはスルーかエラー

それに対し人間は、スッキリかモヤモヤかゼンゼンかを自分で確認し(メタ認知)、修正することができる。

⇒「振り返ること」は人間の特権

昨年12月調査 2年社会の問題で

- ・無解答34.0%で
- ・正答9.4%

「資料をもとに、ブラジルの森林減少に日本が関係していると考えられる理由を説明しなさい」

まとめ

- ・「感性」も大切にして学び
- ・しっかりした「知識・技能」を
- ・そのうえで「思考力」を育て
- ・「粘り強く」取り組んで

⇒AIを使う側の人間に

JRC 結団式・生徒総会 (4月28日)

4月28日に、本校のJRC(青少年赤十字)の結団式を行いました。JRCの精神に基づいて行動し、生徒会活動や本校をより良くしていくことが目的です。

講師に日赤佐賀県支部賛助奉仕団の夏秋正倫先生をお迎えして、講話をお願いしました。夏秋先生は、日本赤十字社の創設者である佐野常民公の偉業について、生徒と対話をしながらお話をしてくださいました。



また、ボランティア・サービスにはニーズの発見が大切であること、「気づき、考え、実行する」人を目指して生活してほしいことを熱く語られました。

生徒総会では、学校生活を生徒自身の手でより良くするために各委員会が目標や活動内容をしっかり考えていました。また、各クラスでの学級討議が十分に行われており、意見や質問が活発に出されました。生徒会役員の方も質問に的確に回答しており、準備の良さが感じられました。



議案が無事承認され、最後に生徒全員で校歌を歌う場面では、居合わせた職員が「今までで一番声が出ていた。」と感想をもらすなど、本校生徒会メンバーとしての自信と誇りが感じられる総会となりました。

体育大会の結団式 (5月9日)

5月の連休が開けた9日に体育大会の結団式を実施しました。今年度も半日開催となる体育大会ですが、できることを工夫してやることに意義があると思います。



新学期から3年生が素晴らしいリーダーシップを発揮してきています。体育大会でもリーダーシップとメンバーシップがかみ合って、若さあふれるパフォーマンスを期待しています。生徒が考えた今年のスローガンは、「Power～一人一人が輝く舞台～」です。



ましろの会による読み聞かせ スタート

5月10日(火)今年第1回目の「読み聞かせ」が行われました。世界の話から身近な話題まで10分弱の絵本の世界に、生徒は浸っています。

「最後の、『目を閉じてみよう』という場面で、生徒がみんな目を閉じているんですよ！素直だなあと感じました。」というメンバーの話を聞いて、心が温かくなりました。

今年も月1回の機会ですが、内容は身近なものから世界の話まで多様な絵本を選んで読んでくださいます。子どもたちも教師も楽しみにしています。



保護者の声

学年だより・学級だよりから

★早速、学年だよりや学級だよりに、保護者の皆様の声が寄せられています。以下にいくつかを紹介いたします。★

- 体育大会の練習が始まるので、しっかり食べて寝て勉強して、規則正しい生活を続けようね。(3年)
- 将来の夢や目標に向かって、コツコツと進んで行ってほしいです。(3年)

★表彰 おめでとう!★

- 神埼地区中学校春季ソフトテニス競技大会
 - 男子団体 1位 ソフトテニス部
 - 個人 3位 門田大翔・原斗佑真
- 佐賀県中学生春季剣道大会
 - 男子団体 3位 剣道部
- 佐賀県ソフトテニス競技強化錬成大会
 - 男子団体 3位 ソフトテニス部
- 佐賀県オープン大会
 - 女子シングルスC級 1位 吉富愛歌

★今後の主な行事予定★

- 5/18(水) 体育大会総練習
- 5/21(土) 体育大会
- 5/25(水) 全学年課題テスト(～26)
- 5/26(木) 交通安全教室
- 5/31(火) スケッチ会 教育相談(～6/16)
- 6/6(月) 3年私立高校説明会
- 6/7(火) 1年宿泊研修(～8) 2年校外学習
- 6/21(火) 前期中間テスト(～22)
- 6/27(月) 中総体選手激励会
- 7/2(土) 地区中総体(～9)
- 7/7(木) 授業参観
- 7/20(水) 1学期終業式